

## 令和元年度政策委員会 議事次第

日 時：令和2年1月16日（木）13:00 ～ 15:00

場 所：笹川記念会館4階 第5会議室

出席者（計16名）

全国地区代表：濱元邦雪、長谷部紫帛、横山精真、大伊達不朽、中山岳襄、菅源右光、  
徳田寿風、笠井栄俊各委員（8名）

有識者：岸ユキ、加藤雅章、田久保雅己各委員（3名）

欠席：片桐正之、久米信行委員

財団役員：沼崎富会長、広渡英治専務理事

事務局：大田直樹常任理事兼事務局長、大塚政暢事業部課長代理、鶴町和成総務部係長

議事次第

1. 開会（会長あいさつ）
2. 委員長あいさつ
3. 報告事項
  - （1）今年度の財団本部事業等実施状況について
  - （2）来年度の財団本部事業予定等について
  - （3）令和元年度将来ビジョン会議における意見について
4. 検討事項
  - 令和2年度将来ビジョン会議審議事項について

以 上

## 令和元年度「政策委員会名簿」

No.	区 分	氏 名	役 職
1	北海道地区連協代表	濱元 邦雪	(公財) 評議員、北海道地区連協副議長
2	東北地区 "	「新」長谷部 紫帛	(公財) 評議員、東北地区連協副書記長
3	東日本地区 "	横山 精真	(公財) 理事、神奈川県総連盟理事長
4	中部地区 "	☆ 大伊達 不朽	(公財) 理事、中部地区連協書記長
5	近畿地区 "	「新」中山 岳襄	(公財) 理事、大阪府総連盟副理事長
6	中国地区 "	菅源 右光	(公財) 評議員、山口県総連盟事務局長
7	四国地区 "	☆ 徳田 寿風	(公財) 理事、四国地区連協幹事長
8	九州地区 "	「新」笠井 栄俊	(公財) 理事、九州地区連協幹事長
9	有識者・外部委員	☆ 岸 ヌキ	(公財) 理事、画家、各種の政府関係・団体などの委員・役員
10	"	片桐 正之	(公財) 理事、一般社団法人ACC 専務理事
11	"	加藤 雅章	(公財) 常任理事、株式会社ロボット 執行役員
12	"	田久保 雅己	株式会社舵社常務取締役 編集長
13	"	「新」久米 信行	(公財) 評議員、久米繊維工業株式会社取締役会長

☆は、女性委員 「新」は、今回委員に就任された方

①任期を2年間とする

②就任時の年齢を76歳以下とする（年齢は4月1日を基準とする）

# 吟剣詩舞道界の2019年の1年間を振り返る

# 吟剣詩舞ニュース

## 大きな変化を迎えた吟剣詩舞道界



### 第6代会長に 沼崎富氏が就任

6月18日、東京港区の笹川記念会館で開催された第8回評議員会で、3期6年にわたりさまざまな改革・改善に尽力された菅原道雄第5代会長が退任され、代わって翁流中央吟愛好会・宗家会長の沼崎富氏が第6代会長に選任された。新会長からは、さらなる改革・改善路線を推し進めるとの所信表明が行われた。

### 吟剣詩舞道祭りの開催

元号が「平成」から「令和」に変わった5月1日、「全国名流吟剣詩舞道大会」に代わり、本年に限り、初めて「吟剣詩舞道祭り」が開催された。1日から5日間にわたり、令和の幕開けを祝う「祭り」が、東京・三田の笹川記念会館国際ホールで華やかに行われた。聖



吟士企画番組、石原詢子オンステージ、少壮吟士・剣詩舞社中による特別企画構成番組、スーパーチーム公演、幼少年番組、近畿地区選抜特別企画番組など幅広い内容を展開した。

### 東北地区連絡協議会が発足

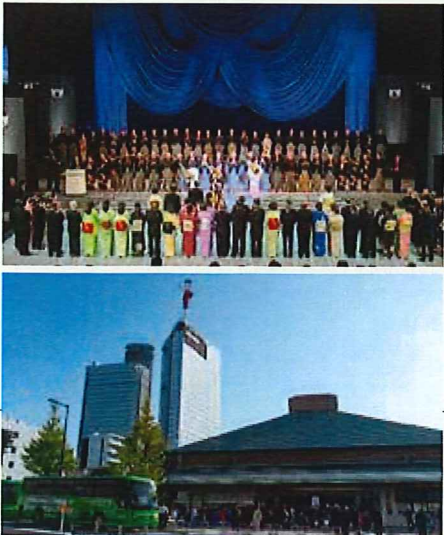
5月20日、これまで7地区体制（北海道、東日本、中部、近畿、中国、四国、九州）であった「地区連絡協議会」が、東日本地区連絡協議会から東北地区が独立し、新た



に「東北地区連絡協議会」が8地区目として発足した。

### 全国吟剣詩舞道大会が 両国の国技館で開催

初の会場となる両国国技館で、第51回全国吟剣詩舞道大会が、11月9日・10日、2日間にわたり開催された。初日、吟詠・剣詩舞スーパーチーム企画番組、少壮吟士・青研吟士と全国剣詩舞社中による特別企画構成番組、特別ゲスト石原詢子オンステージ、また最後には、スーパーチームの新曲「光芒」など盛り沢山の公演を繰り広げた。二日目は、合吟コンクールや幼少年番組、高校生代表演舞、全国コンクール優勝者披露などが行われ観客から大きな歓声が響いた。詳細は本号特集をご覧ください。





## 吟詠・剣詩舞 スパーチームの飛躍

第3期吟詠スパーチーム3人が選出され、スパーチームは総員29人体制となった。活躍の場は「吟剣詩舞道祭り」や「全国吟剣詩舞道大会」などの財団主催事業にとどまらず、国民文化祭や国立療養所多摩全生園創立百周年記念式典、スポーツの国際会議「TAFISAワールドコンGRESS 2019 東京」などで、一般人向けに吟と舞を披露し、日頃磨き上げた技芸と若者らしい躍動感を伝えることに成功した。



## 青年吟剣詩舞道研修会の開催

2年前、青年吟剣詩舞道大学が開催され、充実した講義や同世代の仲間たちとの意見交換など普段の活動では味わえない中身の濃いイベントとなり、多くの参加者から「定期的に開催して欲しい」との意見が寄せられていた。その要望に応え、18歳から35歳までの吟剣詩舞愛好家を対象とした「青年吟剣詩舞道研修会」を初開催。吟詠・剣詩舞スパーチームのメンバーも参加し、指導補助を果たすなど、講義の充実度を感じさせる研修会となった。今後、夏季吟道大学との隔年開催の予定。



青年吟剣詩舞道研修会



第34回国民文化祭にいがた2019吟舞の祭典



第43回全国高等学校総合文化祭

## 新潟県で「国民文化祭」初開催

新潟県長岡市で、「第34回国民文化祭」にいがた2019吟舞の祭典」を10月6日に開催。越後

長岡藩で藩政改革を主導した河井継之助を軸とした戊辰戦争をテーマにした企画構成番組、五人合吟コンクール、さらには地元が多様な郷土芸能など盛り沢山の舞台が展開され、長岡市立劇場を埋めた1500人の観客から盛大な喝采が贈られた。

## 佐賀県で「高文祭」開催

22府県98校261人の高校生が集まり「第43回全国高等学校総合文化祭」が、佐賀県唐津市で開催された。各府県からの参加チームは、自分達の故郷の風土や歴史をテーマにした構成吟を次々に披露。独吟や群舞、書道吟などバラエティーに富んだ内容で会場は終始熱気に包まれました。

## 聖吟士の活躍

少壮吟士OBにより結成された東日本聖吟士会。各地に赴き、特

別公演や吟詠研修会を行っている。本年は、5月の「吟剣詩舞道祭り」初日公演、そして11月に山形で「第3回東日本聖吟士会吟詠研修会」を開催。今回、初の東北開催となったが多くの観客を集め、吟詠の奥深さや素晴らしさを伝えた。

## 財団ホームページをリニューアル

ネットから情報を得る方法が、パソコンからスマートフォンへ移行した現状に対応するため、大幅にビジュアル面を変更し、スマートフォンでの閲覧が見やすくなりました。また吟詠・剣詩舞スパーチームの動画を中心に積極的に情報を発信しています。

## テレビ放映で吟剣詩舞が取り上げられる

BS朝日で放映中の情報番組「Japanぐるぐろ」にスパーチームや吟剣詩舞レジェンド(徳田寿風理事、多田正満顧問、藤上南山元老)が登場。一般視聴者に吟剣詩舞の魅力を伝えた。またフジテレビ「めざましテレビ」やテレビ東京「THEカラオケ☆バトル」へ関係者が出演するなど、周知活動の幅が広がっている。



## 令和元年度将来ビジョン会議について

### 1. 開催状況

地区	日程	会場
北海道	7月17日(水)	札幌サンプラザホテル(北海道・札幌)
東北	7月26日(金)	山形テルサ(山形)
東日本	6月3日(月)	笹川記念会館(東京・三田)
中部	8月20日(火)	名鉄グランドホテル(愛知・名古屋)
近畿	7月13日(土)	新大阪ワシントンホテルプラザ(大阪)
中国	8月17日(土)	ホテルセントイン倉敷(岡山・倉敷)
四国	7月20日(土)	セントラルホテル鴨島(徳島・吉野川)
九州	7月6日(土)	ホテルメルパルク熊本(熊本)

### 2. 今年度の議題

- (1) 斯界の意識改革について  
※現状認識の共有や宗家会長合同会議開催、地区連協・総連盟への青年部の設置等
- (2) 連絡手段としてのメールの活用について  
※財団本部事務局と各地区連協・総連盟間の情報伝達・連絡の迅速化
- (3) 財団本部の財源確保について  
※月刊誌拡販の具体的な提案、年会費制度の拡大、出吟料の見直し
- (4) 全国名流吟剣詩舞道大会のあり方について  
※開催時期・内容・規模等について
- (5) 幼少年育成のための指導者の育成について

◎今年度は、会議開催前にテーマ毎に地区連協・総連盟・会議出席者を対象にアンケートを実施。

#### 各地区連絡協議会と各総連盟対象に実施

- (1) 斯界の意識改革について
- (2) 連絡手段としてのメールの活用について

#### 各地区将来ビジョン会議委員対象に実施

- (3) 財団本部の財源確保についてのうち、月刊誌拡販の具体的な提案について
- (4) 名流大会のあり方について
- (5) 幼少年育成のための指導者の育成について

### 3. 各地区からの意見(アンケートの結果について)

※次ページ以降参照。

将来ビジョン会議事前アンケートの結果について

1. 各地区連絡協議会と各総連盟対象分

	総数	斯界の意識改革について						総連盟への青年部の設置について				連絡手段としてのメールの活用について		
		斯界の現状認識について			宗家・会長会議の開催について			賛成	反対	設置済	その他	対応済み	今後対応	対応不可
		満足	厳しい	現状維持	賛成	反対	その他							
北海道	6	0	6	0	6	0	0	4	0	0	2	1	2	3
東北	4	0	4	0	4	0	0	3	1	0	0	1	1	2
東日本	8	2	4	2	6	1	1	6	0	1	1	5	1	1
中部	2	0	2	0	0	1	1	1	1	0	0	2	0	0
近畿	6	0	4	2	5	1	0	1	0	2	3	3	0	3
中国	6	0	6	0	6	0	0	4	0	0	1	3	3	0
四国	15	0	13	2	14	0	1	11	0	1	3	8	3	3
九州	9	0	8	1	6	1	2	3	1	0	5	4	3	2
<b>計</b>	<b>56</b>	<b>2</b>	<b>47</b>	<b>7</b>	<b>47</b>	<b>4</b>	<b>5</b>	<b>33</b>	<b>3</b>	<b>4</b>	<b>15</b>	<b>27</b>	<b>13</b>	<b>14</b>

2. 将来ビジョン会議委員対象分

	総数	名流大会のあり方について										幼少年育成のための指導者育成について								
		開催時期について		開催場所について			開催時間について				演目について		研修会の開催形式について			研修会を開催する場合の回数				
		現行のまま	変更するべき	現行のまま	立候補制	その他	現行のまま	拡大	縮小	その他	現行のまま	変更するべき	合宿形式	講習会形式	その他	0回	1回	2回	3回	3回以上
北海道	8	2	5	4	2	2	1	0	7	0	3	4	1	6	0	0	4	4	0	0
東北	6	3	3	3	1	2	5	0	1	0	6	0	0	5	0	0	1	5	0	0
東日本	12	8	4	11	0	1	11	0	1	0	10	2	3	9	0	0	5	4	0	3
中部	11	3	8	10	1	0	6	0	5	0	6	5	3	5	3	1	4	2	1	1
近畿	11	5	6	8	1	1	7	0	3	0	5	3	3	4	2	1	2	4	0	0
中国	10	8	2	9	1	0	8	2	0	0	8	2	2	7	0	0	5	3	0	2
四国	12	7	5	9	1	2	9	2	1	0	9	2	4	7	1	0	7	4	1	0
九州	14	6	8	11	3	1	8	1	3	1	9	4	5	11	0	0	8	5	1	0
<b>計</b>	<b>84</b>	<b>42</b>	<b>41</b>	<b>65</b>	<b>10</b>	<b>9</b>	<b>55</b>	<b>5</b>	<b>21</b>	<b>1</b>	<b>56</b>	<b>22</b>	<b>21</b>	<b>54</b>	<b>6</b>	<b>2</b>	<b>36</b>	<b>31</b>	<b>3</b>	<b>6</b>

※名流大会について

- ・開催時期・・・5月5日（こどもの日）
- ・開催場所・・・各地区輪番制（来年度は熊本(九州)で開催）
- ・演目・・・第1部 少壮コンクール決選大会入選者吟詠  
第2部 全国宗家・会長吟詠  
第3部 こども番組  
第4部 特別企画構成番組
- ・開催時間・・・午前9時半から午後5時まで

※アンケートには一部未回答のものがあったため、回答数と総数は必ずしも一致しない。



# 「将来ビジョン会議」 各地区で開催!

## 5地区の 会議内容速報!

吟剣詩舞界の重要な方針を決める「将来ビジョン会議」は、今年度最初の会議になる東日本地区会議が、6月3日(月)笹川記念館で開催されたのに続いて(本誌7月号28ページ「ホットニュース」参照)、7、8月に残り7地区で相次いで開催されています。この7地区のうち5地区から会議内容が本部へ報告されました。地区会議には、日本吟剣詩舞振興会の新会長、沼崎富会長、広渡英治専務理事、事務局長はじめ各地区の幹部も多く出席しています。今回は、審議事項を事前に検討していただき、会議内容の充実を図るため、地区連協、総連盟、及びビジョン会議出席委員を対象に、左記のアンケートを実施しています。

### 【北海道地区】

7月17日(水)に北海道札幌市の札幌サンプラザで、道内各地から出席した15人の委員とオブザーバーとして北海道地区連協3役が参加して開催されました。会議では、各委員から事前に行われたアンケートを基に発言がありました。幼少年の育成については、幼少期から育てても進学や就職のタイミングで地元を離れてしまったため、長期にわたって継続的に教えることが難しいが、帰省した際におさらい会などを開いて参加してもらっ

### [A] 地区連協、総連盟向け アンケート

1. 斯界の意識改革について  
「現状認識の共有や宗家会長合同会議開催、地区連協、総連盟への青年部の設置など」
2. 連絡手段としてのメール活用について  
「財団本部事務局と各地区連協・総連盟間の情報伝達・連絡の迅速化」

### [B] 将来ビジョン会議委員向け アンケート

3. 財団本部の財源確保について  
「月刊誌拡販の具体的提案、年会費制度の拡大、出吟料の見直し」
4. 全国名流吟剣詩舞道大会のあり方について  
「開催時期、内容、規模などについて」
5. 幼少年育成のための指導者の育成について



ているといった意見がありました。

名流大会については、北海道外に出る場合には航空機を使うことが多いことから、交通費や宿泊費が高くなるゴールデンウィーク以外の方が有難いとの意見が複数ありました。

この他には、財源確保策の一つとして、キーホルダー等のグッズ販売をしようかとの意見がありました。

また、出席委員からは、北海道

は他地区と比べてまだまだ芸の努力が必要、そのためには、芸を盗んででも習得する姿勢が足りないとの指摘もありました。

最後に、菊川八千穂北海道地区連協幹事長から「芸を学ぶ力が大事。本気になれば東京へ行ってコンクールを見ることがもいとわなくなるはず。今回出た問題も、ただ本部に言うだけではなく、自流派で解決できることは努力すべき」とのお話しをいただき、約2時間半の会議は終了しました。

#### 【出席者】

斉野岳城(相談役・北紋)、西口琴玲(相談役・道央)、橋本精涼(相談役・道央)、阿部清心(参与・道北)、東田鶯洲(参与・道央)、前野翔漱(参与・道央)、梅田錦翠(参与・道南)、佐々木旭純(参与・道央)、桒本朋穂(参与・道央)、品野真怜(参与・道央)、吉田徳桜(参与・道央)、阿部國耀(参与・道央)、寺林錦紗(道央)、水谷領華(道央)、井上翔燿(道央)

【オブザーバー】  
(北海道地区連協三役)  
吉田魁桜(常任理事・議長・道央)、菊川八千穂(評議員・幹事長・道央)、澤石峯洲(評議員・書記長・道央)

## 【東北地区】

7月26日(金)、山形テルサ(山形県山形市)で、出席者18人、オブザーバー3人が参加して開催されました。

会議では、各委員に対し事前に行われたアンケートを基に発言がありました。斯界の現状が厳しいとの判断で、宗家・会長合同会議開催には全回答が賛成となりました。青年部の設置については、賛成3、反対1。また連絡手段としてのメール活用については、現状厳しいとの回答が半分を占めました。

地方における人不足という意見が多い中、まずは漢詩や詩吟に興味を持ってもらう試みをすべきという意見が出ました。秋田県ではドイツ人留学生に対し、陶淵明の「勸学」を英語とドイツ語に翻訳して教える機会などの例が提示されました。

#### 【出席者】

小野妙剣(青森)、高橋國叢(岩手)、高橋瑞祥(元老・宮城)、山尾誓慶(参与・宮城)、庄子輝泉(参与・宮城)、高橋誓樹(宮城)、武田峯仙(宮城)、下村吟紀(相談役・宮城)、館岡奥鵬(参与・秋田)、一條岳皇(福島)

高橋岳洲(相談役・福島)、上田岳美(福島)、後藤祐岳(福島)、長谷部紫

帛(評議員・新潟)、山田紫仙(参与・新潟)、太田岳陽(相談役・山形)、百瀬皓洲(山形)、菊池岳東(山形)、佐藤仁電(山形)

#### 【オブザーバー】

宮川紫朋(常任理事・新潟)、寺嶋城靖(評議員・青森)、栗野電暉(評議員・山形)

## 【近畿地区】

7月13日(土)新大阪ワシントンホテルプラザ(大阪府大阪市)で出席者13人、オブザーバー3人が加わって開催されました。

会議冒頭において、多田正満前副会長に対し、長年にわたる財団への功労を称え、感謝状が沼崎会長から渡されました。

本会議においては、名流大会に關して現状維持を望む回答が多数を占める一方、より地元色のあふる企画番組を望む声がありました。次に幼少年育成に關しては、「青少年が吟剣詩舞に触れられる企画を作り各流派に紹介して欲しい、外部講師による講演を企画して欲しい」などの意見が出ました。



【北海道地区】



また和歌山県から参加した古川壽泉参与から、月刊誌購読者獲得のための、積極的な働きかけについて説明がありました。

#### 【出席者】

山田静将(理事・京都)、足立育城(評議員・滋賀)、早淵鯉将(評議員・兵庫)、多田正晃(評議員・大阪)、青柳弦太郎(評議員・兵庫)、古川寿泉(参与・和歌山)、鉤正賀(参与・滋



【四国地区】

賀、長山国嶺(参与・奈良)、伏尾琵琶城(参与・大阪)、山岡桜山(参与・兵庫)、奥山紅雫(京都)、巽吟城(大阪)、木村紫航(和歌山)

#### 【オブザーバー】

青柳芳寿朗(副会長・兵庫)、多田正稔(常任理事・大阪)、山口華雫(常任理事・大阪)

### 【四国地区】

7月20日(土)、徳島県吉野川市のセントラルホテル鴨島で開催されました。委員からは次代を見据えた幼少青年の育成について、初心者向けの教材作成やスパーチームの招聘といったきつかけづくり、保護者に信頼される指導者の育成など、特に多くの意見が上がりました。

そして、吟剣詩舞をより普及していくための施策として、一般の人々の目にとまるようにツイキヤスやインスタライブといった動画での配信、さらには「ストリートでの吟剣詩舞披露」といった、よさこい・阿波おどりなどのパフォーマンス文化がある四国らしい意見も上がりました。

予定時間の2時間では収まり

きれないほどに、これからの吟剣詩舞界を考えた意見が述べられ非常に建設的な会議となりました。

#### 【出席者】

松井松聲(評議員・愛媛)、藤岡江心(参与・愛媛)、大森麗禎(参与・愛媛)、勇野喜麗希(香川)、岡根瑛穂(香川)、片山辰風(香川)、吉田嶽山(参与・徳島)、山口浩洲(徳島)、萩原煌昶(徳島)、柿内岳正(評議員・高知)、野中秀宗(参与・高知)、門舛容葉(高知)

#### 【オブザーバー】

(四国地区連協役員)  
安永江悠(副会長・議長・愛媛)、徳田寿風(理事・幹事長・香川)、山下明穂(理事・書記長・徳島)、氏原容石(理事・副幹事長・高知)

### 【九州地区】

7月6日(土)熊本県熊本市のメルパルク熊本で、九州各地から出席した11人の委員とオブザーバーとして九州地区連協三役及び書記局と大分、佐賀、宮崎の各総連盟理事長が参加して開催されました。

議題のうち、名流大会については、現在の5月5日から開催日を変

更してほしいとの意見が複数出た一方で、現在の財団行事本部主催、地方主催スケジュールを考えると時期変更はなかなか難しいのではないかと意見がありました。

幼少年育成のための指導員育成については、合宿形式よりも地区ごとでの研修会を望む意見が多く、内容も実践型のものが良いというものや、親子参加型といったものがありました。

#### 【出席者】

河野声洲(福岡)、中武玲星(参与・宮崎)、前田卓霊(参与・大分)、原田光玲子(参与・大分)、伊東秀峰(評議員・熊本)、大野豊寿(評議員・熊本)、向山侑真(参与・熊本)、三木勝風(長崎)、津村玉玲(長崎)、原口豊秀(参与・佐賀)、大坪松蓮(参与・佐賀)、森田一星(参与・鹿児島)

#### 【オブザーバー】

向山侑吟(常任理事・九州地区連協議長・熊本)、笠井栄俊(理事・九州地区連協幹事長・福岡)、八代光晃子(評議員・九州地区連協書記長・宮崎)、杉田肯靈(書記局・宮崎)、赤峰郁靈(評議員・大分県総連盟理事長)、松本豊旺(相談役・佐賀県総連盟理事長)、松川岳匠(評議員・宮崎県総連盟理事長)



# 令和元年度 「将来ビジョン会議」

## 中部・中国地区で開催

全国各地で開かれている「将来ビジョン会議」は、吟剣詩舞界の重要な方針を決める会議です。すでに6地区の会議は終わり、その詳細は本誌9月号でお伝えしましたが、このほど中部・中国地区の会議が終了、その内容が本部へ報告されました。

### 〔中部地区〕

8月20日(火)、名古屋市の名鉄グランドホテルで、出席者11人、オプザーバー3人が参加して開催され、会議冒頭は公財本部の沼崎富新会長から退任した杉浦容楓前副会長へ、長年にわたる財団への功



上:中部将来ビジョン会議  
下:感謝状が杉浦容楓前副会長に渡される

労を称え感謝状が渡され本題に入りました。本会議において、名流大会に関しては、従来の5月5日開催の変更を求める声や8地区の輪番制を支持する声が多い一方、開催規模や演目について、現状のまま、変

更すべき、双方の意見に分かれまし

た。財団の財政確保については全国コンクールの入場料有料化、月刊誌販促のためグッズ制作の提案があり、また、斯界の意識改革については厳しい判断の一方、宗家・会長合同会議は消極的な意見が大半です。最後に吟剣詩舞普及のための「初心者向け体験交流会」(福井県)、高校の部活(岐阜県)、県民芸術祭に合わせた「創立40周年大会」(長野県)活動報告がありました。

### 〔中国地区〕

8月17日(土)、倉敷市のホテルセントイン倉敷で開催され、多くのオプ



中国地区将来ビジョン会議

ザーバーが見つめる中、会議の中心になったのは「若手の育成」についてでした。広島県福山市で初の試みとなる幼少青年による『吟と舞の祭典』を控え、「魅力のある公演を地方で」「幼少年の発表の場を多くし短めの動画をSNSで共有」など、若者に親しめる吟剣詩舞を目指す意見が多く出ました。また、普及活動を継続させる必要を強調する意見も強く、それぞれの県・流派で情報を共有する場面もあり、有意義な会になりました。



# HOT NEWS

- 東日本地区将来ビジョン会議を開催しました
- 役員改選を実施しました
- 今年の高校総合文化祭吟詠剣詩舞部門発表会は佐賀県唐津市で開催されます
- 月刊誌購読料について

## 公財 ホットニュース

詳しいお問い合わせは、  
 公益財団法人  
 日本吟剣詩舞振興会まで  
 TEL. 03-6721-5950  
 FAX. 03-6721-5960

### 東日本地区

#### 将来ビジョン会議を開催しました

今年度最初の将来ビジョン会議となる「東日本地区将来ビジョン会議」が6月3日(月)に笹川記念会館で開催されました。

これまで東日本地区将来ビジョン会議は、東北と関東の各都県から委員が出席していましたが、東北地区連絡協議会設立に伴い、今回からは関東地区からの委員だけで、人数がこれまでの半程度になりました。出席者の構成も女性が過半数を占めて若返りました。

会議では、八文字剛洲東日本地区連絡協議長と菅原道雄会長の挨拶、広渡英治専務理事からビジョン会議についての説明があり、

続いて本部事務局から事前に実施したアンケートの説明を行いました。

このあと各委員からは、アンケートを基に各テーマについてさまざまな意見が出されました。特にITに関しては、財団著作物のデジタル化を進めてはどうだろうかとの指摘がありました。

将来ビジョン会議は7月から8月にかけて、残りの7地区で開催されます。

#### 役員改選を実施しました

公益財団法人日本吟剣詩舞振興会は、6月18日(火)に開催した第8回評議員会で任期満了に伴う理事・監事の改選と、改選に伴い欠員となる分の評議員の選出を行い、その直後に開催さ

れた第18回理事会で、会長・副会長・専務理事・常任理事及び顧問・元老・相談役・参与を選出しました。新役員の任期は、令和3(2021)年6月に開催予定の定時評議員会までの2年間となります。新役員の氏名等につきましては、本誌で紹介の予定です。

#### 今年の高校総合文化祭

#### 吟詠剣詩舞部門発表会は佐賀県唐津市で開催されます

第43回全国高校総合文化祭吟詠剣詩舞部門発表会は、佐賀県唐津市の唐津市民会館で7月28日(日)に開催されます。

高校総合文化祭は、インターハイ(全国高校総合体育大会)の文化部版ともいえる大会で、毎年夏休

み期間に各都道府県を持ち回りで開催し、昨年は長野県須坂市で24府県292人が集まり開催されました。高校生が吟剣詩舞に取り組む姿を是非会場でご覧ください。

#### 月刊誌購読料について

月刊誌の定期購読料については、年間5000円となっております。定期購読は通常12冊買うよりも1000円安く購入頂けます。

定期購読の手続きは、本誌巻末の振込用紙に必要事項を記入し郵便局でお手続きをお願いします。なお、更新の際に記入する整理番号は本誌の入っている封筒の宛名下に記載しております。皆様方のご購読を引き続きよろしくお願い申し上げます。

【参考】

## 将来ビジョン会議過去の議題（過去4年分）

### 平成28年度

- (1) 吟剣詩舞の会員拡大策について
- (2) 広報推進施策について
- (3) 財源の確保について
- (4) 今日の吟剣詩舞道界を支えられた年代の方々の活躍の場を、どのように設定するのか

### 平成29年度

- (1) 吟剣詩舞の会員拡大策
- (2) 月刊誌「吟と舞」の拡販およびSNS等を活用した広報推進施策
- (3) 次代を担う吟剣詩舞家の育成
- (4) 財団創立50周年事業について

### 平成30年度

- (1) 若者から高齢者までの活躍の場の提供について
- (2) 幼少青年の育成について
- (3) 役員就任年齢の引き下げ及び女性の登用について
- (4) 吟剣詩舞の会員拡大策について

### 令和元年度

- (1) 財団本部の財源確保について
- (2) 全国名流吟剣詩舞道大会のあり方について
- (3) 幼少年育成のための指導者の育成について

※斯界の意識改革についてと連絡手段としてのメールの活用については、地区連協、総連盟へアンケートを実施し意見聴取。



#### 4. 検討事項（令和2年度将来ビジョン会議審議案）

**目標：全国の愛好者一人一人が行動に結びつく、具体的な仕組みや働きかけを考える**

キーワード：

①健康増進

腹式呼吸で、腹筋を使い、声を出すことから健康増進

②歴史を学ぶ

- ・漢詩や和歌、俳句、近代詩などを学び、精神の修養とあわせて心の修行など
- ・吟剣詩舞は、礼と節を大切にする人間修行でもあり人格の陶冶に役立つ

③コミュニティづくり（仲間づくり）

- ・吟剣詩舞は、老若男女で仲間づくりができる

（例）

◎会員獲得

- ・年齢層ターゲット別会員獲得策（65歳以上/働き盛り(30～50歳)/青少年）
- ・各流派の新規会員獲得のためのチラシコンテスト

◎情報発信

- ・各地域のマスコミ媒体へ自ら働きかけ、ニュースとして取り上げてもらう。

**（令和元年度実績）**

◎青少年育成

- ・岐阜高校生の活動（11月号）
- ・広島県総連幼少青年「吟と舞の祭典」（11月号）

◎広報・情報発信

- ・BS朝日「Japanぐる〜ヴ」（2019年10月19日（土）放送）  
出演：多田正満、藤上南山、徳田寿風（吟剣詩舞レジェンド）
- ・フジテレビ「めざましテレビ」（2019年11月21日（木）放送）  
出演：宿利壮平（全国吟詠コンクール幼年の部優勝）
- ・NHK「ひょうご人物語〜刀で舞い うたを表現する男子高校生〜」（2019年11月26日（木）放送）  
出演：原光希（吟詠スーパーチーム）
- ・熊本放送 夕方 Live ゲツキン！（2019年12月18日（水）放送）  
出演：向山諒一（吟詠スーパーチーム）